

科目名	理学療法技術論Ⅳ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
脳性まひを中心に小児理学療法について理解する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義形式が中心ですが、ビデオ等により臨床像をイメージしたり、確認したりしたいと考えています。場合によっては実技やグループでの討論を行いたいと思います。								
〔講師の実務経験〕								
小児療育センターにて29年間小児理学療法に理学療法士として従事した。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
脳性まひ児の理学療法を通して小児理学療法の考え方を理解する。 脳性まひの各タイプの特徴を理解する。								
回数	講義内容							
1	小児理学療法全般についての概論							
2	脳性まひ児に対するPT場面の紹介							
3	脳性まひについて							
4	脳性まひについて							
5	脳性まひの症状							
6	脳性まひの症状							
7	脳性まひの症状							
8	脳性まひの症状							
9	理学療法アプローチの考え方							
10	評価と理学療法アプローチ							
11	評価と理学療法アプローチ							
12	評価と理学療法アプローチ							
13	評価と理学療法アプローチ							
14	小児理学療法実技							
15	小児理学療法(まとめ)							
定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
理学療法テキストⅧ こどもの理学療法 第2版	千住 秀明	神稜文庫

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験により評価します。
